

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	住宅計画小委員会		主 査 名：山口 健太郎 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：広田 直行 主 査 名：清水 郁郎
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、「住居・住宅地 (大会発表論文分類による)」を対象とした課題を検討することを目的とし、下記の重要かつ緊急性のある課題を検討する。</p> <p>① 最近 10 年間の住宅計画の調査研究のまとめと出版企画 ② 東日本大震災の住宅復興等に関する研究 ③ 住宅計画・開発事例の動向と研究課題の整理 ④ 住宅系研究論文報告会の実施 ⑤ 住宅研究における若手研究者の論文発表会の開催 ⑥ 住宅関連学会、及び設計事務所研究会等との意見交換</p> <p>初年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (2016 年度) ・東日本大震災の住宅復興等に関する研究 ・公開研究会、第 11 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2 年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (2017 年度) ・公開研究会、第 12 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>3 年度：・最新の住宅計画・開発事例についての研究 (2018 年度) ・公開研究会、第 13 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>4 年度：・公開研究会、第 14 回住宅系研究論文報告会の実施 (2019 年度) ・4 年間の活動成果を公表 (シンポジウム等) ・震災後 10 年を見据え復興を住宅計画の視点からまとめる</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：山口 健太郎 (近畿大学) 幹事：関川 華 (近畿大学) 委員：新井 信幸 (東北工業大学)、内海 佐和子 (室蘭工業大学)、梅本 舞子 (筑波技術大学)、川崎 直宏 ((株)市浦ハウジング&プランニング)、佐々木 誠 (日本工業大学)、定行 まり子 (日本女子大学)、佐野 こずえ (近畿大学)、鈴木 雅之 (千葉大学)、高井 宏之 (名城大学)、高田 光雄 (京都美術工芸大学)、丁 志映 (千葉大学)、安枝 英俊 (兵庫県立大学)、安武 敦子 (長崎大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	135,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv. aij. or. jp/keikakusub/s8/top. htm</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	<p>集合住宅の実践者による公開研究会</p> <p>1. 「欧州及びアジアの公共住宅における新たな動向」 参加者数 5 名</p>

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>1. 第14回住宅系研究報告会※ 参加者数 74名 (資料名: 第14回住宅系研究報告会論文集) ※建築社会システム、都市計画委員会、農村計画委員会との共同開催 2. シンポジウム「格差をうめるこれからの住まいのあり方- 公的住宅と居住支援」参加者数 名 (2020/3/13 開催予定で準備中)</p>
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 集合住宅の実務者による公開研究会を1回開催した 2. 第14回住宅系研究報告会を開催し、住宅研究の討議、交流を促進した 3. 4年間の活動成果となる、震災後10年を見据え復興を住宅計画の視点からまとめたシンポジウムを1回開催する予定</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>当初の活動計画通りに活動が進められており、特に問題はない</p>